



150

栃木県誕生150年
みんなで創る、未来のとちぎ



陽明門



例大祭
流鏝馬



県西環境森林事務所 GUIDE



鹿沼彫刻塵台



あわの城山公園



2023.7

環境と森林を「守り・育て・活かす」、持続可能な力強い「とちぎ」づくり

1 守り・育て・活かす、環境立県とちぎ

- After コロナを迎えた満喫プロジェクトによる観光資源の磨き上げと資源循環の推進による環境負荷の低減
- ① 日光国立公園ステップアッププログラム 2025 に基づく、「日本一きれいなトイレ日光」の実現に向けた最適な管理手法及び効果的な情報提供手法等の検討と「G7 関係閣僚会合」に向けた修景伐採による受入態勢整備
- ② 突発的な苦情や事故に対し、速やかに地域と連携した立入調査等を行い、公害を未然に防止
- ③ 事業場等に対する廃棄物排出抑制及び適正処理の指導並びに優良産廃処理業者育成による資源循環の推進

2 栃木の元気な森を 100 年先の未来へ

- 稼げる林業の実現に向けた原木安定需給体制構築の支援及び次世代を担う人材の確保・育成並びに森林の適正な保全と管理の推進
- ① 原木安定需給体制の構築に向けた WG での検討と直送取引の試行・検証
- ② スマート林業の実装に向けた林業事業者への支援
- ③ 地元高等学校への林業就業及び「栃木県林業大学校」への進学PR並びに林業事業者へのスキルアップ研修等のPR強化
- ④ 森林環境譲与税の執行率向上に向けた WG での事例紹介や提案等による市への支援強化
- ⑤ ナラ枯れ発生時の被害拡大防止を図るため、関係機関と連携した情報収集体制の強化と被害判定のできる人材の育成
- ⑥ 第3期保安林整備実施計画に基づく計画的な保安林の指定と多角的な情報収集による治山事業地を取り込んだ指定拡大の推進

3 特定課題への対応

- 自然災害や野生鳥獣被害に強い森づくりの推進
- ① 激化する降水形態への対応を踏まえた予防的ハード整備による防災・減災、国土強靱化と流域治水対策の推進及び防災意識向上のためのソフト対策実施による地域防災力強化の推進
- ② 県西地域鳥獣被害対策連絡会議等を活用した鳥獣被害の情報共有及び課題の抽出によるソフト対策の推進
- ③ 市及び地元関係者と連携した野生鳥獣被害防除対策の推進及び里山管理団体支援による獣害軽減のための里山林整備の促進

組織体制

所長

次長

環境部長

環境企画課

- ・ 工事契約
- ・ 野生鳥獣の保護管理
- ・ 自然公園の保全及び整備等

環境対策課

- ・ 大気汚染・水質汚濁の防止
- ・ 廃棄物処理対策

森林部長

林業経営課

- ・ 林業振興／森林経営計画
- ・ 造林／作業道整備
- ・ とちぎの元気な森づくり県民税

森林部長補佐
(総括)

森づくり第一課

- ・ 県営林
- ・ 保安林指定解除／林地開発指導
- ・ とちぎの元気な森づくり県民税

森づくり第二課

- ・ 荒廃林地の整備（鹿沼市）

森づくり第三課

- ・ 荒廃林地の整備（日光市）
- ・ 林道整備

概要

当事務所管内は、県の北西部に位置する鹿沼市と日光市からなり、総面積19万4千haで県土の約3割、総人口は、16万9千人で県人口の約1割を占めています。森林面積は15万9千haで、林野率は82%、民有林は7万7千haであり、これらの森林は、鬼怒川流域、渡良瀬川流域の上流部に位置することからダムや水道等の重要な水源地域となっています。

広大な森林は、古くから林業を育み日光林業地帯を形成し、製材業や木工・家具製造業等の木材関連産業を発展させてきました。更に、奥日光や奥鬼怒の自然景観は、日光国立公園の中心であり、この美しく豊かな自然を求めて国内外から多くの人々が訪れています。

近年は、地球温暖化の進行や世界的規模で進む生態系の破壊、奥山から里山に至る森林の荒廃、さらには廃棄物や生活排水などの問題を背景に、環境や森林に対する関心が高まりをみせており、水・空気・森林など、豊かな環境を維持・保全しながら持続的な発展を図っていくための循環型社会の構築が求められています。



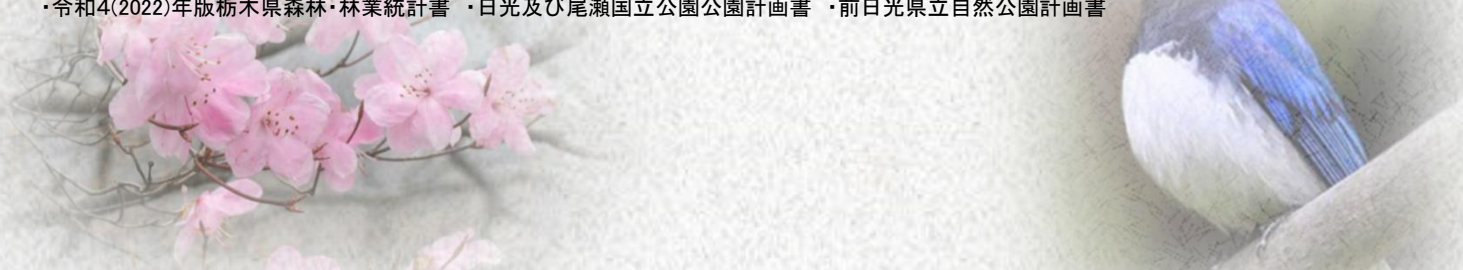
位置図



データ

項目 市町	人口 (R5.3.1) 人	総面積 (R3.1.1) ha	森林		国有林			民有林			国立公園	県立自然公園
			面積 ha	林野率 %	総面積 ha	人工林 ha	人工林率 %	総面積 ha	人工林 ha	人工林率 %	面積 ha	面積 ha
鹿沼市	91,968	49,064	33,659	69%	1,672	1,050	63%	31,987	24,423	76%	-	8,913
日光市	74,518	144,983	125,230	86%	80,208	15,456	19%	45,022	23,690	53%	72,908	2,069
事務所計	166,486	194,047	158,889	82%	81,880	16,506	20%	77,009	48,113	62%	72,908	10,982
県全体	1,902,023	640,811	347,904	54%	127,727	31,723	25%	220,177	122,572	56%	104,781	28,662
管内割合	9%	30%	46%	-	64%	52%	-	35%	39%	-	70%	38%

・栃木県毎月人口推計月報令和5(2023)年3月1日現在 ・栃木県統計年鑑令和3(2022)年度版
 ・令和4(2022)年版栃木県森林・林業統計書 ・日光及び尾瀬国立公園公園計画書 ・前日光県立自然公園計画書



～守り・育て・活かす、環境立県とちぎ～

～人と自然の共生～

優れた自然環境の保全と利活用

日光国立公園等の優れた自然環境を保全するとともに、自然とふれあう場を確保するため、自然公園の利用施設の整備を行っています。



イタリア大使館別荘記念公園



英国大使館別荘記念公園

裏見の滝二写橋



龍王峡虹見橋



外来種対策の推進

外来種の生息状況及び被害状況の把握や県民への普及啓発を推進しています。



クビアカツヤカミキリ

～良好な生活環境の保全～

大気・水・土壌環境の保全

異常水質事故や地下水汚染への対応、事業場排水の調査・指導等を実施しています。



コカナダモ刈取（湯ノ湖）



異常水質検査

工場・事業場対策の推進

大気汚染防止法や水質汚濁防止法等の環境関係法令に基づき、工場・事業場の立入検査を実施しています。



立入検査

資源循環としての適正処理の推進

廃棄物の適正処理に向けた環境整備を進めるとともに、不適正処理事案への対応を行っています。



不法投棄の状況



撤去指導後

廃棄物・リサイクル産業の振興

資源循環に係る処理施設の確保や「とちの環エコ製品」の認定増に取り組んでいます。



シンボルマーク

～とちぎの元気な森を100年先の未来へ～

～林業・木材産業の産業力強化～

素材生産力の強化

管内の豊富な資源を活用するため、施業規模の拡大、高性能林業機械導入とそれに対応した路網配置を促進し、間伐と皆伐の施業バランスを図りながら、素材生産力の強化を進めます。



高性能林業機械による効率的な素材生産(鹿沼市)

木材の安定供給体制の構築

川上から川下に至る関係者連携による木材取引に関する協定締結など、とちぎ材の安定的な供給システム構築を促進します。



木材乾燥施設による人工乾燥材(鹿沼市)

とちぎ材の競争力強化

森林環境譲与税導入による東京圏等への販路拡大を推進するとともに、東京五輪で注目される森林認証材を使用した製材品の普及により、とちぎ材の認知度向上を進めます。



森林認証材が使われた国立競技場

きのこ等特用林産物の競争力強化

生産技術及び品質の向上、ICTを活用した栽培技術による生産管理を促進します。東京圏外食産業等とのマッチングを進めるなど、販売ルートの開拓を促進します。



菌床しいたけ栽培



わさび(根茎)

～森林の公益的機能の高度発揮～

森づくりを支える種苗生産体制の強化

コンテナ苗の生産量が増加傾向にある中、均一性のある優良なコンテナ苗の持続的な生産に向けて生産技術の向上や新規生産者の育成に努めています。



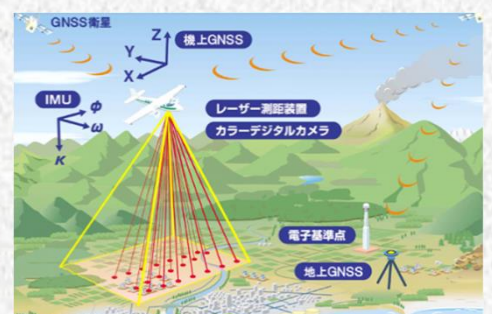
ヒノキコンテナ苗生産状況



技術向上に向けた取組

森林所有対策の推進

新技術を活用した林地の地籍調査の推進や林地台帳制度の活用により、森林所有対策を推進していきます。



林地の地籍調査の推進

水源林等の管理・保全の推進

水源かん養機能の効果発揮が求められる森林や山地災害防止につながる森林において、保安林の指定を進め、森林法に基づく森林の適正な保全・管理に努めています。



水源かん養保安林



土砂流出防備保安林

野生鳥獣の適正な管理

鳥獣保護区や休猟区などを指定して、野生鳥獣の生育環境の保全を図る一方、有害鳥獣捕獲や個体数調整への支援等により、農林水産業や生態系に係る被害の軽減を図っています。



侵入防止柵設置



剥皮防止ネット設置



防災・減災のための治山対策の推進

県民の生命及び財産を守るため、地震・台風等による荒廃山地の復旧や危険度の高い箇所の災害予防対策など、効果的な治山対策を進めています。



土砂流出防止工事



山腹崩壊防止工事

男体山を守る



足尾を緑に



昭和40年代



現在

荒廃森林の復旧



～森林・林業・木材産業を支える地域・人づくり～

次代を担う林業人材の確保・育成

林業体験、未来技術を活用した操作研修等を通じて、次代の林業を担う地元高校生の林業事業体への就業促進を支援します。



ドローン操作研修（鹿沼南高校）

魅力ある雇用・労働環境の充実

林業事業体の労働安全に対する意識向上、安全作業の徹底を図るため、安全講話、安全パトロール等を実施します。



安全パトロール風景（日光市）

～未来技術を活用した産業への進化～

自動化等による労働生産性・安全性の向上

未来技術を活用した林業機械の導入による生産性向上等を検証するとともに、作業の自動化等による労働者の安全性向上に努めます。



下刈り等の自動化に期待される機械



ドローンによる資材運搬

様々な主体による森づくり活動の促進

とちぎの元気な森づくり県民税事業などにより、生活環境の改善、人と野生動物との共生など持続可能な地域づくりに向けて、里山林の整備を推進します。



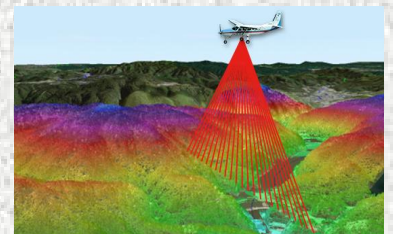
過密化した森林



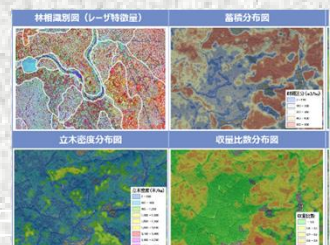
間伐による健全な森林

デジタル化・見える化

航空レーザ計測などリモートセンシング技術を活用し、森林資源情報の見える化を推進します。



航空レーザ計測



森林資源情報の解析

生産管理のICT化

“プロダクトアウト”から“マーケットイン”の生産体制への脱却を図り、川上及び川中の情報の「見える化」のシステムを構築します。



生産管理のICT化(イメージ図)

総合的な獣害対策の推進



野生鳥獣による農林業被害の軽減を図るため、県西地域鳥獣被害対策連絡会議を設置して、市をはじめとする関係機関と一丸となって獣害対策に取り組んでいきます。



獣害防止ネット

捕獲

・有害鳥獣捕獲



捕獲されたシカ

地域ぐるみで
3つの取組を
総合的に
推進

防護

・地域を守る侵入防止柵の設置
・忌避剤の散布等



侵入防止柵

環境整備

・隠れ場所となるヤブの刈り払い
・放任果樹の除去等



ヤブの刈り払い

とちぎ森林創生ビジョンの基本理念

- I 林業・木材産業の成長産業化
- II 持続可能な森づくり

とちぎの元気な森を100年先の未来へ



栃木県県西環境森林事務所

〒321-1263 栃木県日光市瀬川5-1-9
Tel 0288-21-1178 Fax 0288-21-1181

HP : <https://www.pref.tochigi.lg.jp/d51/index.html> E-mail : kensai-ksj@pref.tochigi.lg.jp